

支部だより

2018.3.5 No.19 東京支部事務局

2018年JNP東京支部

活動のスタート（定期総会報告）

1月20日、2018（平成30）年JNP東京支部定期総会が、中小企業会館・銀座に於いて、15:00より開催され、1-8の議案が満場一致で承認され、東京支部2018年の活動がスタートしました。

定時総会は、会員25名中、出席者14名、委任状提出5名、欠席3名ということで成立を確認した後議案が進みました。

昨年2017年は、東京支部設立15周年と言うことで、以下の5つのイベントを推進する中で、15周年のお祝いと20周年に向けた新たな気持ちを醸成する楽しい写真の会づくりをスタートしました。

- ① 15周年記念作品展（図録作成を含む）
- ② 15周年記念を祝う会
- ③ 15周年記念撮影会
- ④ 特別研究会「高橋清写真術を学ぶ」
- ⑤ 支部HPの充実

5つのイベントは、メンバーの方々の協力により全てが実施され、20周年に向け、スタートを切ることが出来ました。

2018年の活動については、東京支部の運営方針は継続しますが、以下の3点を重視した活動をメンバーの方々と協力して取り組んでいきたいと思っています。

◆支部運営方針

- ・和気藹々、写真を通じた楽しい交流（風景写真を通じたコミュニケーション）
- ・双方向による撮影技術の研鑽（各自の撮影技術向上）
- ・自由な雰囲気、自由な交流が出来る支部運営（会員数最大30名程度）

◆2018年活動は、以下を重視し推進する。

- ・定例研究会の充実による撮影技術のレベルアップ
 - ・JNP他支部との交流によるコミュニケーション拡大
 - ・外部発信強化による東京支部の認知向上と会員拡大
- 昨年は、JNP指導会員・山本一先生（JNP通常総

会后JNP名誉会長に就任）に定例研究会の講師をお願いし、作品展のアドバイス、さらに、懇親会での交流を通し、公私共にお世話になりました。

山本先生には、これからも、会の運営、撮影技術の向上等を通し、長くお付き合いをさせていただきたく思っております。

今年からは、風景写真家・山口高志先生を講師にお迎えし、風景写真に対する考え方、各自の作品、撮影技術に対するアドバイス等をいただくことになっております。

山口先生とは、すでに新春講演、新年会での交流が始まっており、お人柄にも触れ、期期待が広がっているのではと思います。

ここ数年、コンテスト入選作品、また、写真家の方々の講評、講演等を拝聴すると風景写真に対する考え方、捉え方が変わって来ているなど感じるがあります。

山口先生はじめとし、多くの風景写真家、他支部の方々、社友の方々とのコミュニケーションを通し、撮影技術を向上させながら、個性を發揮した風景写真づくりに支部としても、また、個人としてもチャレンジして行けたらと思っています。

支部長として2年目に入り、今年も、皆さんと共に東京支部を盛り上げて行く所存です。

今後ともご協力のほどお願い申し上げます。

（文責：戸張 眞）

2018JNP東京支部新春撮影会

「厳冬的美ヶ原」

1月28-29日の2日間、霧ヶ峰・ダイヤモンドダスト、美ヶ原高原・朝日・ダイヤモンドダスト、そして霧氷を狙い、2018年東京支部・新春撮影会が開催されました。



当初の参加予定は15名。しかしながら、予約後予定が

入り行けなくなった方、また、当日～3日前インフルエンザに掛かって急遽キャンセルせざるを得なかった方・・・とすることで、実態は精鋭揃い5名の少人数による撮影会でした。初日は朝5時、霧ヶ峰駐車場に集合。ダイヤモンドダストに期待を寄せ、撮影準備・・・結果は??? 少し朝焼けはしたものの雪も少なく、霧氷も付かず、勿論、ダイヤモンドダストは影も見えずの状況でした。



その後、美しの池に移動し、湖面のフロストフラワーを撮影した後、目的地の王ヶ頭ホテルにチェックイン。

しかし、王ヶ頭ホテル周辺は、曇り空・風も強く撮影が出来る条件ではなかったため、急遽、夕食の前から酒盛りに変更（今回は、割り勘負けを避けるため、コンビニで焼酎・つまみを買い込み部屋での酒盛り）夕食までの間、酒を飲みながら写真談義に盛り上がったという次第。



翌朝は、期待を胸に朝6:00ホテルロビー集合。しかし、周り一面のガス、視界不良・・・結局、窓ガラスに付いた霜を外から撮影、早々に切り上げ、朝風呂、そして、朝食。昨夜の夕食も超豪華であったが、いやあ、朝食もなかなか。ホテルスタッフのフランクでしかもきちっとした接客・・・さすが王ヶ頭ホテル。

朝食後、チェックアウト、カメラを除く荷物をフロン

トに預け、撮影に出発。バス（1台後のバスに乗ったため、何と我々5人で貸切）にて、高橋さんの先導で撮影場所を探しながらのロケハン、空も青空に変わり、丁度良い場所で降ろしてもらい、約2時間・・・興奮の中で、朝日に輝く霧氷・霧氷・霧氷の撮影。

撮影終了後は、送迎バスにて美鈴湖に着き、その後、各自帰路についた。

今回の撮影会は、残念ながらダイヤモンドダストは見られなかったものの、一面霧氷に包まれた美ヶ原高原冬景色また、王ヶ頭ホテルの美味しい食事・・・皆大満足。年に一度位は、超豪華な撮影会を企画し、全員で行きたいものである。（文責：戸張 眞）

“山口先生”による

2018年定例研究会スタート！！

1. 日時：2018年2月24日（土）14:00～17:00
2. 会場：中小企業会館・銀座、8F、A会議室
3. 講師：山口高志先生（風景写真家）

2018年2月24日（土）いよいよ東京支部「2018年第1回定例研究会」が始まりました。今年からは風景写真家「山口高志先生」に講師をお願いしての定例研究会となります。

その前段として、去る1月20日（土）の定期総会後新春講演をいただき、さらに新年会にも同席していただく中で先生のお人柄にも触れ、期待が広がっていました。

先生には、昨年お目にかかり、講師の願いをすると共に、講評にあたり、以下のお願いをさせていただきました。

- ・進め方につきましては、先生からの講評と合わせ、作者とのやり取り、参加メンバーから意見等を取り混ぜ進めていただけるとありがたく思います。
- ・講評は、比較的厳し目をお願いします。ただし、少しは褒める部分も入れまた、ダメな部分は、こうした方が良いのではと一言いただければと思います。
- ・有名撮影地での作品も多いかと思いますが、有名撮影地で個性ある撮影の仕方を含め、ご教授いただければと思います。
- ・全講評が終了後、全体を通じて指摘しておきたいポイントについてアドバイスをいただけると参加メンバーの整理になるので、是非、お願いしたいと思います。

今回の定例研究会は、山口先生による講評の第1回目と言うこともあり、先生も、メンバー双方緊張した中で参加者20名が各自作品5点を持ち寄り作者と先生のやり取りの中で講評が行われました。

講評に先立ち先生から、今年の定例研究会の運営にあたっては、「お互いの交流の中でBESTを追求する」を基本方針とし、講師による一方的な講評だけではなく作者、参加メンバーの意見を取り入れながら進めて行きたいとの話があり、講評会を進めました。

講評は、今回第1回目と言うこともあり時間がオーバーしたり、作者からの質問・意見もあまり出ませんでした。進むにつれ、先生も作品の良いところの指摘から、厳しいアドバイスが出されました。

講評後は、作品を参加者に回し、細かく見ながらお互いに感想を言ったり、また、「こうした方が良いのでは」等意見交換をしたり・・・。

定例研究会終了後はいつもの「桃杏楼」での懇親会、先生も参加していただき、時間も忘れ、今回の定例研究会の感想、写真談義、6月の山口先生による撮影会の内容等で盛り上がりました。

次回の定例研究会は、6月9日（土）です。日程調整の上、ご参加ください。（文責：太田桃子、戸張眞）

第1回山口先生による定例研究会に参加して

山口先生による初めての講評会に期待と不安をこめて5点の作品を出しました。

先生も時間が足りなくなるほど熱心に、時にユーモアを交えて講評をしてくださり、私達の期待に応えてくださいました。

講評の中で、特に、以下3つの言葉が心に残りました。

- ・ 5点の作品には見せるための強弱が必要。
- ・ 自分の本当に撮りたいものにもっとせまりズームアップすることが大切。
- ・ 撮影場所の個性的なものにもっと目を向けることが大切。

今回は、個々の作品への講評後、先生の目で5点の中から金賞、銀賞の2点を選ぶということを取り入れたことも良かったです。

講評の中では、作者がどこを1番表現したかったかを聞き、作品をさらによくするためにカットしたり、プリントの段階で明るさの調整をすることへのアドバイス。ま

た、自家製プリントの人にはさらによくするためソフトの具体的は使い方、不自然に見える加工へのアドバイスもありました。

自分の作品の講評だけでなく他の人への講評も面白く参考になりました。

講評後、作品が回ってきますが、手元でみるのは遠くからみるのと違うので必要です。

山口先生は、コンテストの審査も数多く担当されているので、作品を見せることに対する対応が具体的でわかりやすいと思いました。コンテストには、有名撮影地で撮影した同じような作品が50枚きたことがあるという話には驚きました。

今後、自分の撮りたいものにもっとせまり、作品の完成度を高めていきたいと思いました。

また、今年の支部の運営方針として「定例研究会の充実による撮影技術のレベルアップ」が挙がっており、今後の講評会の進め方も工夫をしていくそうなので期待しています。

会員同士が優劣を競い合うのではなく、お互いに素晴らしい作品に触れ先生のアドバイスをいただき、自己研鑽に励む場としての講評会運営に期待しています。

東京支部の和やかな雰囲気をお互いに高め合っていきたいものです。（文責：戸張 伸子）

2018年第1回

“私のお気に入り撮影スポット”

私はここ数年は地元の公園で撮影をしています。ここは一般的な撮影ポイントではなく、地元住民の憩いの場所であり、散歩コースでもある。

この公園の最寄り駅は日暮里舎人ライナーの舎人公園駅です。春には梅に次いで桜が咲き、季節の花々が順次咲きます。晩秋の頃にはモミジやカエデの紅葉や銀杏の



黄葉、それに赤や黄色のジュウタンが楽しめます。また前日との気温差によって霧や霞が発生し、幻想的な光芒



風景が見られることもあります。

舎人公園から少し足を伸ばすとハスの撮影ができる足立区堀之内公園があります。このハスは千葉県から移植された古代ハスで、6月末から7月末まで撮影できます。

ここ数年訪れる自宅近くの薬師寺

さんにもお世話になっています。この見事なモミジが紅葉寺と呼ばれる由縁です。



気温にもよりますが、11月下旬から12月初旬が身頃です。気さくな住職ご夫婦のご好意によって撮影させていただいています。（文責：渡邊 勝治郎）

事務局からのお知らせ

祝賀会へ参加お誘い

JNP「四季のいろ展」が5月11日（金）-17日（木）に、六本木「富士フィルムフォトサロン東京」で開催されます。

初日には、祝賀会がありますので、みなさま、ふるってご参加ください。

（注）東京支部からは、すでにご案内の様に紀田さん、鈴木（暎）さんのお二人が入選されました。

開催日時： 2018年5月11日（金）

受付開始： 17:30

開 宴： 18:-00

会 場： 〈レストランロステリア〉

東京都港区六本木 6-6-9 ピラミデ 3F

TEL： 03-3475-1341

URL： <http://losteria-roppongi.com/>

会 費： 6,000 円

アクセス： 富士フィルムフォトサロン東京から六本木交差点を渡り右折 100m、麻布警察署手前の路地を左折、道路向かいの突き当りのビル（ピラミデ）に入り、エスカレーターで3階へ

地下鉄日比谷線・都営大江戸線 1 番出口から徒歩 10 分
※参加される方は、戸張までご連絡ください。

TEL： 080-32580693

Email： makoto_tobari@jmac.co.jp

（文責：泉屋ゆり子）

長谷川義政さんご逝去

去る 2 月 25 日、日本風景写真協会東京支部の創立時からのメンバーであった長谷川義政さんが亡くなりました（享年 65 歳）。突然の訃報に、東京支部のメンバー全員は驚愕するとともにたいへん悲しく胸のふさがる思いであります。

長谷川さんはずっとフィルムでお撮りになっていました。つい先頃フェイスブックに掲載するために作品 10 点を紙焼きして送って下さったので、フェイスブックの東京支部のページにアルバム「長谷川義政」として掲載したところ、たいへん喜んで下さったそうです。

またここ数年、渉外担当として定例研究会後の懇親会のお席をセットして下さっていました。

まだお若かったのに、残念でなりません。心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌